

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		永寿の里若葉（ひなたぼっこ）				公表日	年	月	日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2			室内の他、人数が多い日には分散して活動ができるように、グラウンドや屋上などを使用している。今後も環境整備を努めていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		2		基準は満たしているが、十分ではなく必要人数には足りていない。今後も人材の確保を行っていく。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2			怪我等で階段での移動が困難な場合は、エレベーターを使用している。わかりやすいように構造化を行っているが、室内はバリアフリーの環境に整っていない。ニーズや必要に応じて、室内環境を工夫していく。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	1	1		壁紙など剥がれている箇所が多くなっている。今後もこども達が活動しやすい環境の整備を行っていく。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	1	必要に応じ、個別にグラウンドや1階で過ごせるようにしている。	個別の部屋までは準備できていないが、こども達の状況に合わせて、1階やグラウンドを使用して個別の対応を行っていく。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2			支援のことや、業務についての目標を毎月設定して、振り返りを行っている。改善事項や新たな取り組みなどがある場合は、従業員間で話し合いを行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		頂いたご意見や評価については、従業員間で話し合い、改善に努めている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2			第三者委員の先生に支援や環境整備について見て頂き、評価や指摘を頂いている。評価、指摘については迅速に改善に努めている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2			定期的に外部研修やオンライン研修を受講している。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2						
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2						
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2						

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2			従業員全員が意見を出し合う時間を設け、子ども達との関わり方についてや、子どもたちのしたいこと、やってみたいことが、実現できるように従業員間で準備、話し合いを行っている。また一人ひとりの可能性を大事にし、活動の幅を広げられるようプログラムに誘ったり、新しい活動の提案をして行きたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	1		人数体制も踏まえて柔軟に対応するように努力はしており、多少の固定化はあるが色々な活動を提供できるよう工夫している。固定した活動を好む子どもには、無理に活動の幅を広げず、楽しく過ごしてもらえるように努めている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2			今後も子どもの特性や状況に応じて、保護者様の支援の希望も取り入れながら支援計画を作成していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	1	終了後すぐには出来ていないが次の日には情報の共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	1		現在該当ケースは無いが、必要に応じて情報共有と相互理解に努めている。必要に応じて行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2		必要に応じて支援計画やアセスメントなどの情報を提供している。その際、保護者様へ情報提供の許可を得てから行っている。	情報を求められれば提供している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		2		保護者様や子どもたちから要望があった場合、検討していく。
	33	（自立支援）協議会等積極的に参加しているか。	2			平野区内のデイサービス連絡会に参加している。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2			共通理解が持てるように、送迎の際や連絡帳を通して伝えている。また、随時電話でも話をして共通理解を深めている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	研修は行えていないが、保護者様への情報提供はモニタリング面談などで行っている。		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			契約時に説明をしているが、不十分な部分もあるため、契約後も個別の質問に応じたり、補足説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2			半年ごとのモニタリング面談時に保護者様の不安、気になっていることなどに意識を向け、相談にのっている。また、面談だけでなく、電話、連絡帳などでも相談を受け付けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		2			ニーズがあれば保護者様同士が連携できるような場作りを考えていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2				苦情があった場合は迅速に対応をしている。その他ご意見など頂いた場合には従業員間で話し合いを行い、よりよいサービス提供ができるように努めている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2				「ひなたぼっこだより」や事業部全体の広報誌である「風華」を通して、活動の様子を伝えている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		学校からの引継ぎ内容を、従業員間で共有する際も、他者に聞こえないように話をする等している。		情報提供同意書に基づいて、十分注意している。他事業所へ情報提供する場合は、保護者様の許可を得てから行うようにしている。お客さまの前で情報を共有することに関しては、従業員同士で声を掛け合い注意することや、チーム会議の場で情報共有の仕方について話し合い、改善を図る。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2				言葉以外にも写真や絵カードを用いて情報伝達のための配慮をしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		2			コロナ以降地域への行事が実施できていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2				感染症のマニュアルや防災マニュアルの見直しを障がい事業内で行い、保護者様へ配布している。また、感染症発生時の対応についてのガイドラインを運用している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2				保護者と情報共有を行ない、適切な対応を心掛けている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		2			現在アレルギー対応が必要な子どもがいない。アレルギーの確認は行っているが、必要に応じ保護者様と相談しながらアレルギー食の対応を行って行く。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	1			御家族への十分な周知は行えていない。今後周知の方法を検討していく
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2					

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			虐待防止研修に参加し、虐待防止委員会を設置している。また、それとは別に、月に一度自分自身の言葉使いについて振り返りや見つめ直しを行い、従業員間でより良い支援になるよう取り組んでいる。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2			現在、該当する児童がいないため、支援計画には記載しておらず、保護者様への説明もしていない。今後も身体拘束が必要のない支援を心がけていく。